

翔

No.175

August

2005

医王山周辺でムラサキシジミを観察

大 脇 淳

石川県では、比較的目撃例の少ないムラサキシジミを観察したので、報告する。

2005年6月21日	石川県金沢市小豆沢	1 ♀目撃	大脇 淳
2005年6月24日	石川県金沢市小豆沢	1 ♀目撃	大脇 淳
2005年7月15日	石川県金沢市小豆沢	1 頭目撃	大脇 淳
2005年7月15日	石川県金沢市俵	1 ♀目撃	大脇 淳
2005年7月 3日	石川県金沢市医王山視	1 頭採集	大脇 淳

金沢市小豆沢には、2年前に伐採された場所があるが、農道沿いは伐採されずに、コナラやアベマキ、アズキナシなどが列になって数本残されている。6月21日に目撃した場所は、農道沿いに伐採されずに残った林縁で、高さ50cm位の場所に止まっていた。このとき見たムラサキシジミの鱗粉は、若干落ちていたものの翅の欠損はなく、ほぼ新鮮であった。



その3日後の24日にも、21日の場所から200mほど離れた場所で、ムラサキシジミを目撃した。この場所もコナラ、アベマキ林の林縁で、やはり高さ50cm程度の低い場所に止まっていた。この個体もメスだったが、前翅の先端が少し欠けていた。翅の状態は、24日の個体の方が悪く、これらが同一個体の可能性もある。

また、7月15日には、21日の場所で1頭、そこから500mほど離れた俵地内で1♀を観察し、俵地内の♀は、アベマキの萌芽枝の葉の付け根に腹を曲げ、産卵行動をとっていた。

7月3日には、医王山の西尾平から視に向かう道の途中で、1頭を採集した。採集個体は、同行していた韓国の木浦（モッポ）大学の教授であるChoi先生に差し上げたため、性別は解らない。この個体は全く破損のない新鮮な個体であった。

末筆ながら、ムラサキシジミの観察記録を報告するよう勧めて下さった松井正人氏に深く感謝する。

《おおわき あつし 〒920-0942 金沢市小立野1-23-20》

ムラサキシジミ - 3度目の正直 -

竹谷 宏 二

石川県における本種の記録は少ない。筆者の撮影リストにも長らく空白であったが、2005年、ようやく願いがかなった。

筆者は、今までに本種を2回目撃している。最初は、加賀市我谷ダム湖畔、2回目は医王山の富山県側の尾根筋である。いずれも種名の確認まではできたが、カメラを構える暇もなく、すぐに飛び去ってしまった。

医王山スポーツセンター前のキゴ山の斜面は、フジミドリシジミを除く各種ゼフィルスの好撮影ポイントだ。この日は雨上がりで、葉上の雨滴が輝いて、絶好の撮影日和と思われた。しかし、どういわけか蝶影がほとんどない。撮影を半ば諦め、ワラビ採りに方針



転換。背の丈以上に伸びたススキをゴソゴソ掻き分けていると、突然目の前に黒っぽい蝶が飛び出し、近くの葉上に静止した。チラッと紫色が光ったので、ウラミスジシジミかなと思って近づいてみると、何とムラサキシジミであった。最初は翅を閉じていたが、薄日が差すと、そっと翅を開いて美しい紫色を見せてくれた。

2005年6月23日 石川県金沢市キゴ山(医王山スポーツセンター前) 1♀目撃 竹谷宏二

《たけたに こうじ 〒924-0815 松任市三浦町4-4-2》

o 短 報 1 7 5 o

■ムラサキシジミ

2005年6月20日	能美市上徳山(標高60m)	1頭目撃	富沢 章
2005年7月10日	小松市西俣大滝(標高300m)	1♀	矢田新平
2005年7月9日	金沢市医王山三千坊(標高780m)	1幼(ミズナラ)	浅地哲也
2005年7月15日	金沢市湯涌河内(標高360m)	1頭目撃	松井正人
2005年7月24日	金沢市医王山三千坊(標高780m)	1頭	細沼 宏

o

o

金沢市と宝達志水町でムラサキシジミを観察

松 井 正 人

石川県の金沢市と羽咋郡宝達志水町で、ムラサキシジミの卵、幼虫、成虫を観察したので報告する。2005年は、6月28日から大雨警報が3日程続いたが、それまでは空梅雨で、石川県内に於いては例年ほとんど観察できないムラサキシジミが、金沢市内で数頭観察されていた。

報告するにあたり、ムラサキシジミの詳細な観察地について、お教えいただいた大脇淳氏にお礼申しあげる。

■金沢市小豆沢

大脇氏が6月21日に、1♀を目撃した場所である。東側が開けた林縁部で、コナラとアベマキの柔らかい新葉を調査し、コナラの眼の高さの新葉からムラサキシジミの中齢幼虫を発見した。

2005年6月26日 金沢市小豆沢(標高240m) 3幼採集(コナラ) 松井正人

■金沢市俵

南側が開けた林縁部で、コナラの柔らかい新葉を調査し、眼の高さからムラサキシジミの中齢幼虫を発見した。次に、道路を造るために樹が伐採された場所で、切株から新しく伸びた柔らかい芽を調査していると、ムラサキシジミ♀が飛来し、地上10cm程にある木の葉に止まった。近づいて観察すると、何度か飛び立ち、すぐ近くに止まったが、そのうち隣接する暗い林内へと消えた。

2005年7月2日 金沢市俵(標高220m) 1幼採集(コナラ) 1♀目撃 松井正人

■金沢市医王山見上峠

東側が開けた林縁部(図-1)で、ミズナラの柔らかい新葉を調査し、地上1mから4mにかけての高さから、ムラサキシジミの卵、孵化直後の幼虫、中齢幼虫を発見した。大きな幼虫には、アリがまとわりついていた(図-2)。

2005年7月2日 金沢市医王山見上峠(標高400m) 1卵目撃11幼採集(ミズナラ) 松井正人

■金沢市松根

南側が開けた林縁部で、コナラの柔らかい新葉を調査し、眼の高さから、アリがまとわりついているムラサキシジミの中齢幼虫を発見した。

2005年7月2日 金沢市松根(標高200m) 4幼採集(コナラ) 松井正人

■金沢市戸室山

森林内に入り込む車道の両脇のコナラを調査し、中齢幼虫を発見した。この車道の片側は山を削った土の斜面で、法尻には1 m程のコナラの幼木やススキなどが生え、残る片側は高さ5 m程度のコナラの樹が立ち並んでいた。土の斜面側にあるコナラ幼木の柔らかい葉からは、大きめの幼虫4頭を発見し、5 m程のコナラの樹からは、目の高さの柔らかい葉から、小さめの幼虫3頭を発見した。大きめの幼虫には、ア리가まとわりついていてた。

2005年7月2日 金沢市戸室山(標高380m) 7幼採集(コナラ) 松井正人

■宝達志水町宝達山

富山県との県境近く、昨年にコナラ・ミズナラ林が伐採されたと思われる場所があり、切り株からは、新しい芽がいくつも伸び、コナラとミズナラの最近になって伸びた柔らかい葉を調査したところ、ミズナラから中齢幼虫1頭が見つかった。

この観察中に、ミズナラの新しく伸びた柔らかい開きかけの芽に静止するムラサキシジミ♀を発見した。♀は、しばらくすると少し飛んでササの葉上に止まり、しばらくして低く飛んで飛び去った。その後、場所を変えて何度か成虫を観察し、途中で1♀を採集したものの、その後にも1頭を観察した。成虫が現れたのは、今にも雨が降り出しそうな蒸し暑い時で、湿度は100%に近かったと思われる。

2005年7月3日 羽咋郡宝達志水町宝達山(標高460m) 1幼採集(ミズナラ)松井正人
1♀採集1頭目撃



図-1. ムラサキシジミの幼虫が見つかった林縁



図-2. ムラサキシジミの幼虫にまとわりつくアリ

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

医王山の稜線でムラサキシジミを観察

浅野直樹・三坂岳応

石川県と富山県の県境に位置する医王山の稜線で、ムラサキシジミを観察したので報告する。稜線のミズナラは背丈ほどしかなく、三坂岳応は、このミズナラのあたりを飛んだり止まったりしているムラサキシジミ1♀を観察した。あたかも産卵しているか様子だったが、卵は確認できなかった。石川県周辺では、ムラサキシジミの観察例は少ないようなので、報告した。

2005年6月15日 石川県金沢市医王山 1♀目撃 三坂岳応

《あさの なおき 920-0942 金沢市小立野2-26-7》

《みさか がくおう 921-8031 金沢市野町1-2-8》

医王山の南砺市側でムラサキシジミを採集

嵯峨井淳郎

石川県と富山県の境にある医王山の南砺市（旧福光町）側で、ムラサキシジミを採集したので報告する。採集地は県境の尾根で、フジミドリシジミを採集しようとブナを叩いていたところ、本種が飛び出した。

2005年6月25日 富山県南砺市医王山 1♀ 嵯峨井淳郎採集

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

医王山でムラサキシジミを採集

生田省悟

医王山の南砺市（旧福光町）側でムラサキシジミ1♀を採集したので報告する。

2005年6月26日 富山県南砺市医王山 1♀ 生田省悟採集

15時ころ、フジミドリシジミを目当てに、県境の車道でブナを叩いたところ、本個体が飛び出し、近くの葉に止まったので、これを採集した。他に、飛翔中の1頭も目撃している。

今年も現地へは何度か出向いているが、黒っぽい蝶が飛んでいるのを見ても、やけに速いトラフシジミといった程度にしか感じなかった。反省すべき点がまた一つといったところだろうか。

《いくた しょうご 〒921-8105 金沢市平和町3-22-10》

我が家の庭のツマグロヒョウモン2005

奥 素 八 子

ツマグロヒョウモンは、我が家の庭で発生するようになって何年にもなり、完全に庭の一員になったようで、今年も、庭のスマレで幼虫を見つけました。

発見した幼虫は5頭で、4月2日、3日、7日、13日、15日に各1頭ずつです。この幼虫を取り込み、室内飼育しましたところ、羽化は、5月6日に2♂、8日に1♀、13日1♂、残り1頭は羽化しませんでした。

成虫は、近所の家の庭のバンジーに、1♀が止っているのを、この年になって初めて5月19日に見ました。

■ツマグロヒョウモン

2005年4月2日	石川県小松市八里台	1幼	奥素八子
2005年4月3日	石川県小松市八里台	1幼	奥素八子
2005年4月7日	石川県小松市八里台	1幼	奥素八子
2005年4月13日	石川県小松市八里台	1幼(20mm)	奥素八子
2005年4月15日	石川県小松市八里台	1幼	奥素八子
2005年5月19日	石川県小松市八里台	1♀	奥素八子

《おく すやこ 923-0056 小松市八里台12-3》

白山市白峰明谷川でツマグロヒョウモンを観察

松 井 正 人

白山市白峰明谷川(旧白峰村)で、ツマグロヒョウモン1♀を観察した。本種は、2000年頃に石川県に定着した種で(松井、2001)、当初は人家周辺や田畑周辺など人間臭い場所に多く見られ、自然が豊かな場所では、あまり観察されなかった。ところが、今回観察したのは山深い場所で、人工物は砂利道しかない自然が豊かな場所であった。

定着から5年、ツマグロヒョウモンは多化性を活かし、生息地を拡大していると思われるが、在来のヒョウモンチョウ類に、どのような影響が及ぶのか、気になるところである。

2005年6月25日 石川県白山市白峰明谷川 1♀目撃 松井正人

《参考文献》

松井正人(2001)2000年石川県のツマグロヒョウモン概要. 翔(149):1-2.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

2004年の石川県舩倉島におけるアサギマダラの観察

後藤 義夫・日吉 芳朗

舩倉島における2004年5月21日から24日にかけての観察によると、2004年の初夏の飛来は、例年になく多かったように見受けられる。それは、これまで海岸の北ヅラや中央部の山林内で目撃されるのが目立ったのに比し、島のほぼ全域にわたってその姿をみることができたからである。とはいえ、海岸では午前中に、山林内では午後いくぶん遅くなってから目についたとも言える。なお、海岸での訪花吸蜜は、スナビキソウとハマボスのいずれか、あるいは両者で行われていたかは不明である。また、静止から飛翔に移ったさいの方向は、風の向きと無関係にみえた。中には空高く舞い上がり視界から消えていった個体もあり、これは他所への移動をうかがわせた。

一方、初秋の飛来は、島民の目撃情報もなく、バードウォッチャーの4頭目撃のみであったことから、その数は少なかったようにみえる。その原因の一つに、夏の酷暑が考えられるが定かでない。

図1. 2004年の舩倉島でのアサギマダラの観察地と飛翔方向(後藤義夫)

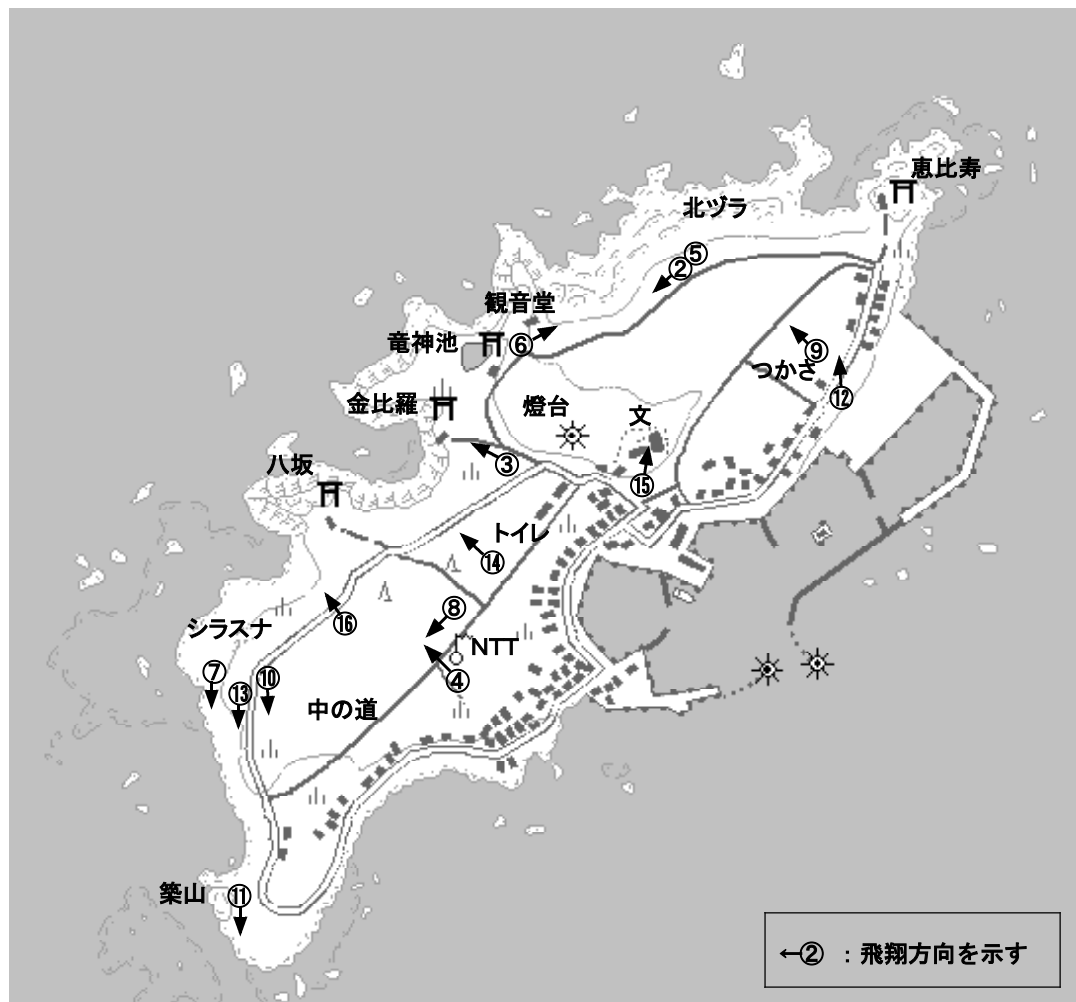


表1 2004年の舳倉島でのアサギマダラの観察地と飛翔方向（後藤義夫）

番号	観察日	天気	観察時間	観察数	観察地
②	5月21日	曇ときどき晴	11:00	2頭	北ヅラ
③	5月21日	曇ときどき晴	12:20	1頭	外周路三又
④	5月21日	曇ときどき晴	15:40	1頭	中の道NTT
⑤	5月22日	曇のち晴	7:10	2頭	北ヅラ
⑥	5月22日	曇のち晴	8:00	1頭	観音堂
⑦	5月22日	曇のち晴	11:30	1頭	シラスナ海岸
⑧	5月22日	曇のち晴	15:00	2頭	中の道三又
⑨	5月22日	曇のち晴	16:00	1頭	民宿つかさ横
⑩	5月23日	晴	6:00	1頭	シラスナ草原
⑪	5月23日	晴	6:20	1頭	築山
⑫	5月23日	晴	8:00	1頭	民宿つかさ前
⑬	5月24日	晴	5:35	1頭	シラスナ海岸
⑭	5月24日	晴	6:42	1頭	中の道トイレ
⑮	5月24日	晴	9:20	1頭	校庭
⑯	6月6日	曇	5:20	1頭	八坂とシラスナの間

表2 2004年の舳倉島におけるアサギマダラの記録

観察日	天気	観察時間	観察内容	観察者
5月21日	曇	11:00~15:40	4頭目撃	後藤義夫
5月22日	曇	7:10~16:00	7頭目撃	後藤義夫
5月23日	晴	6:00~8:00	3頭目撃	後藤義夫
5月23日	晴	7:00	1♀目撃	稲垣 修
5月24日	晴	5:35~9:20	3頭目撃	後藤義夫
5月24日	晴	10:00	2頭目撃	大角しのぶ
5月25日	晴	14:00	1♂目撃	浅田利明
5月27日	晴	7:00	1♂目撃	稲垣 修・中村暢男
6月1日	晴	8:30~10:12	2♂3♀マーク	南 祐治・他
6月2日	晴	9:00	1頭目撃	南 祐治
6月6日	曇	5:20	1頭目撃	後藤義夫
7月25日	晴	5:16	1頭目撃	後藤義夫
9月27日	晴	14:00	1♀目撃	有山智樹
10月2日	曇	14:00	2頭目撃	原田健男
10月4日	晴	10:00	1頭目撃	稲垣 修

最後に、舳倉島の調査にご協力をいただいた浅田利明、有山智樹、稲垣 修、中村暢男、原田健男、渡部良樹のバードウォッチャーの諸氏、上野台中学校舳倉島分校の南 祐治先生、並びに同校生徒諸君、民宿つかさ（大角しのぶ氏ら）、民宿つきの皆さんに厚くお礼を申しあげる。

《ごとう よしお 〒493-8001 一宮市北方町北方南辰己前46-4》

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

が降らず、ムラサキシジミが、何頭も観察されている。

渡りをするチヨウ

アサギマダラのふしぎ

秘められた渡りのナゾを、素晴らしくきれいな写真で紹介した写真絵本。日吉芳朗・宏朗両氏のマージング個体も載っている。佐藤兄弟が送るアサギマダラ渡りシリーズの第二段。定価一四七〇円。新日本出版社から。

今度はカラフトタカネだ北海道

またまた北海道遠征を企んでいる細沼氏、空梅雨に舌なめづりをしていたが、一転した豪雨に浮かぬ顔。最近は、北海道まで北上する梅雨前線、この動きに気をもんでいる。

キラキラ系からナガボソ系へ

タマムシのキラキラ系には、誰もがはまり易いが、ここからシブイ系に発展するのは極わずか。最近の浅地氏は、ナガボソの採集にうれしさを隠しきれない。

医王山で二度目のヒサマツ

医王山馬の背ポイントで、七月三日午前中に、ピカピカのヒサマツ♂が採集された。遅れて到着した浅地氏は、ボロフジしか採集できなかった。

深夜のキノコゴミムシ観察会

七月例会で話題に上がり、「希」の文字に弱い会員に「賑やか師」が荷担し、即日決行。俵の貯木場に付いたのは、十二時近くだった。

県境に輝くVサイン

医王山は馬の背ポイント、ムラサキシジミでも居ないかとブナを叩くと、黒つぼいものが一斉に飛び出した。近くに止まったものを見ると、トラフ、フジ、そしてVサイン。ヒサマツに半信半疑の嵯峨井氏だったが、ようやく納得。

ブラケースが並ぶ細沼邸

ゼフ各種が入った採卵用のブラケースがずらっと並んでいるかと思えば、かたわらに

は、チャマダラやギンイチモンジ等のケースがあり、カラフトタカネのケースを覗くと、孵化が始まっていた。

白水隆蝶類文献データベース

一九八五年刊の日本産蝶類文献目録と二〇〇三年刊の続日本産双方の内容、つまり一七八二年〜二〇〇〇年に発行された文献が収録され、タイトルや著者名などでの検索ができる。本編と続編を合わせた五千口の重みが、一枚のCDに凝縮された。価格は六千円。申し込み受付は八月末まで。

例会の記録

六月二日(木)城南管工一階にて、午後八時から開催。

今回は、細沼氏と中西氏が、北海道採集行の報告。オサムシトラップは五〇〇個設置するも、入ったのは黒ばかりで、ピカピカはたったの四頭。リングシジミは、スモモが花盛りで、蛹ガツポリ作戦を変更。その他の話題は、海岸にアサギが飛来、珠洲市で採れた

シートテハの幼虫、ピカピカエサキがゾロゾロ脱出、トホシの材削りで腱鞘炎、海岸のエノキからアカアシクワガタ、などなど。

参加は、中西、竹谷、松井、細沼、大脇、浅地、井村、指田の八人。

例会の記録

七月七日(木)城南管工一階にて、午後八時から開催。

今回は、松井氏がムラサキシジミについて報告。例年ほとんど観察されないが、今年の観察例は多く、幼虫も簡単に見付かる。継続するののか一過性なのか。温暖化でツマゲロヒヨウモンが定着したが、それに続く種かもしれない。

その他の話題は、トンボ屋のゼフ採集は空中戦、クロコムラ一五〇卵の行方、軽やか手作り捕虫網セット、ヒメボタル観察会は二ラウンド、キノコゴミを見に行こう、などなど。

参加は、浅野(新入会員)、竹谷、中西、松井、浅地、大脇、井村の七人。

会員の動き・しゃばの動き

手ぶらのカメラおじさん

カメラを抱えて出沒すること数知れず。数をこなすことから、画素数を抑え、撮った枚数ん万枚。その成果は、HP昆虫スタジオ金沢に掲載されているが、酷使がたたり、カメラは二年半でドック入り。ただ今、手ぶらおじさん。

オサムシのかぐわしき香り

北海道から持ち帰ったが標本にならない黒いオオルリを飼育中の細沼氏、あの香りに包まれ、ぼんやり眺めていると、幸せな気分になるとか。

蝶の数より多い採集者

県外から採集者が押し寄せる医王山、今年もゼフシリーズ突入とともに、尾根には長竿が林立。恐れをなしたか、フジの飛翔はとぎれがち。

アサギマダラに魅せられて

自然の大神秘、アサギマダラの渡りを調べるために、今年も海岸調査網が敷かれた。今年は五月下旬から飛来が始まり、スナビキソウの中に入ると、足下からフワリと舞い上がるアサギマダラに心が躍った。

二人のおじさんは平日狙い

医王山のフジポイント、休日ともなれば、押すな押すなの盛況で、ネットを振るのもままならない。そこで、毎日が日曜のおじさんは、平日に出かけ、のんびり網を振る。

シーズン限定、馬の背サロン

医王山はフジポイント、Sは毎日、A、I、Hはちよくちよく顔を出し、採集話に花

が咲いている。ここへ行けば、ホットな採集情報が手に入る。

走った距離は三万と五千キロ

定年と同時に自動車学校に通い、念願の免許を取得した日吉氏だったが、あれから二年が経過。走った距離は三万五千キロに達したが、ほとんど蝶を求めての採集行。

暑さに参った長寿のトゲナナ

昨年の十二月から飼育していたトゲナナ君、シンガシラを食べながら冬を乗り越え、六月に入っても元気にしていたが、連日の三十度を超える暑さには参ったようで、六月二十四日にこの世を去った。

梅雨のベールに包まれて

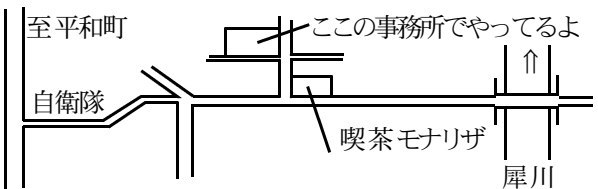
雨が降りしきると、外出するのもおっくうで、この頃の事は、人気の高いゼフくらいしかわかっていなかった。しかし、少ないと思われていたミスジチヨウが、梅雨空を飛んでいることが解ったのは、空梅雨の時だった。今年も雨

翔 175号

Tobu 2005年8月10日発行
百万石蝶談会

<http://homepage3.nifty.com/100man/>
金沢市大場町東871-15 松井方
☎920-3121 ☎076-258-2727
郵便振替 00750-8-562
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から
TEL参加もOKです (076-244-3318)



目 次 (175号)

大脇 淳：医王山周辺でムラサキシジミを観察	1
竹谷宏二：ムラサキシジミ－3度目の正直－	2
松井正人：金沢市と宝達志水町でムラサキシジミを観察	3
浅野直樹・三坂岳応：医王山の稜線でムラサキシジミを観察	5
嵯峨井淳郎：医王山の南砺市側でムラサキシジミを採集	5
生田省悟：医王山でムラサキシジミを採集	5
奥 素八子：我が家の庭のツマグロヒョウモン2005	6
松井正人：白山市白峰明谷川でツマグロヒョウモンを観察	6
後藤義夫・日吉芳朗： 2004年の石川県舩倉島におけるアサギマダラの観察	7
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	10